

ジーシー スプリントリテーナーレジン

【禁忌・禁止】

メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状

- ・粉末（2 種類）：150g、500g（ノズル付）
フォーメーションタイプ
スプレッドタイプ
- ・液：250g（260mL）ノズル付キャップ

色調

2 色（液）＝ピンク、クリアー

主成分

- ・粉末
フォーメーションタイプ：メタクリル酸エステル重合体
スプレッドタイプ：メタクリル酸エステル重合体
- ・液：メタクリル酸メチル

原理

- ・粉末と液を混合すると、粉末が膨潤しつつ液成分のモノマーが重合し粘性が上がり重合硬化に至る。

【使用目的又は効果】

本材は、粉末と液体とを一定比率で混和して石こう模型上に盛り上げるか、又は粉末と液体とを石こう模型上に徐々に積層して盛り上げる方法で、矯正床やスプリントの製作に用いる常温重合レジンである。

- 1) フォーメーションタイプは流れにくく付型性があり、フリカケ法によるスプリントの製作に向いている。操作余裕時間は約 7 分である。
- 2) スプレッドタイプは初期流動性が高く、矯正床の製作に向いている。操作余裕時間は約 5 分である。

【使用方法等】

1) 作業模型の準備

通法に従い、矯正床やスプリント用の作業模型を製作して十分に吸水させ、レジン接触部分にジーシー ニューアクロセップなどの分離材を塗布し、乾燥させます。

2) 模型への築盛

○フリカケ法

液はすぐさま浸透して粉末に馴染みますので、すばやく粉末を振りかけるようにして盛っていきます。一度に多量の粉末と液を盛るのではなく、数回に分けて積層していきます。作業には、付属の粉末用・液用ディスペンサーを使用します。

○混和法

スパチュラで粉末と液を適量混和します。ある程度まで混和したら一度様子を見るようにして、粉末を加えます。標準粉液比は粉 1.8g に対して液 1mL です。粉末が表面に少し残るくらいのタイミングで気泡を生じさせないように、ゆっくりとスパチュラを回しながらペースト状を確認します。目安は、スパチュラですくって糸を引く状態です。スパチュラを模型の斜面と平行に使うようにして、全体のバランスを見ながら盛り広げるようにします。

両方法ともに築盛は操作余裕時間内に終了させ、重合に移ってください。また、冷蔵庫に保存した液を使用しますと、操作余裕時間が 1 分ほど延びますので、大型矯正装置の製作には便利です。

作業中は液の揮発を考慮し、先に盛り上げた部分に時々液を補充し、いつもウェットの状態を保ちながら作業を進めます。また一度築盛した部分に盛り足す場合には、被着面に液を塗布してからレジンを盛り足すことによって、境目に違和感をなくすことができます。

3) 重合

築盛後は、モノマー成分の揮発により面荒れを生じる場合もありますので、速やかに重合に移ります。必ず約 50℃の温湯に模型ごと完全に浸した状態で、7 分間放置して重合させます。

圧力をかけなくても気泡混入の少ない硬化物が得られますが、約 50℃の温水浸漬した状態でジーシー パーマボット UP-Ⅲなどの加圧重合器（2 kgf/cm²の空気圧）を使用して重合（7 分）を行うと、更に滑沢で気泡のない硬化物が得られます。

4) 形態修正と研磨

通法に従って形態修正と研磨を行います。チェアサイドで修正や補修を行う場合には、常温重合レジン（ジーシー ユニファストⅢ）での修正をお勧めします。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 本材は、混和法で使用する場合、標準粉液比（粉/液＝1.8g/1mL）でを使用すること。
- 2) 作業模型を十分に吸水させなかったり、分離材の塗布及び乾燥が不十分だった場合、石こう面に接触しているレジン面が荒れることがあるので注意すること。
- 3) 液は金属を腐食させる場合があるので、付属の液用ディスペンサーを使用し、金属製ノズルが装着されたディスペンサーは使用しないこと。
- 4) 作業中の築盛物表面は、いつもウェットの状態を保ちながら作業を進めること。[液の揮発により、十分な重合反応が得られない可能性がある。]
- 5) 一度ディスペンサーに入れた粉末及び液は、元の容器に戻さずに、早めに使用すること。

【使用上の注意】

1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

- ①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本材及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。

2) 重要な基本的注意

- ①本材の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
- ②本材に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
- ③液又は液と粉末との混合物は、直接素手で触れないこと。また、皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。皮膚に付着したときは、すぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入ったときは、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
- ④重合したレジン材は、水中に保存し、残留モノマーを溶出させてから、口腔内に装着すること。[過敏症を誘発する可能性がある。]
- ⑤本材は可燃性であることから、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）に放置しないこと。テーブル、床上などにこぼしたときには、すぐに乾いた布でよく拭き取ること。

- ⑥液は揮発性を有することから、使用する際には適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
[溶剤が人体に影響する可能性がある。]
- ⑦他の製品と混用しないこと。[製品本来の性能が得られない可能性がある。]
- ⑧開封後はできるだけすみやかに使用すること。[開封後は経時変化の状況に影響を及ぼす可能性がある。]
- ⑨本材は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
- ⑩本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ⑪本材については、試験による MR 安全性評価を実施していない。
（自己認証による）*

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・本材は火気厳禁の冷暗所に保管し、一つの保管庫に大量に保管しない。
- ・高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）を避けて保管する。
- ・保管する場所には、消火装置を備える。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。
- ・容器は、使用後すぐに密栓する。

[有効期限]

本材は、包装に記載の使用期限*までに使用すること。

※（例 EXP. 2028-06 は
使用期限2028年 6月 を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシーデンタルプロダクツ

主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシー

住所 : 〒113-0033

東京都文京区本郷3丁目2番14号

電話番号 : (お客様窓口) 0120-416480